

2006年 中間圏・熱圏・電離圏 (MTI) 研究集会

日時： 9月25日(月)・26日(火)

会場： 豊川市民プラザ

プログラム (以下、敬称略)

<9/25>

10:00 - 16:40 サイエンス・セッション

テーマ: MTI グローバル水平結合系の物理

10:00 - 10:15 はじめに - 研究会趣旨説明・連絡等

[藤原均(東北大学)・坂野井和代(駒沢大学)]

10:15 - 11:00 基調講演 1: MLT 領域の大気大循環と波動の役割

[宮原三郎(九州大学)]

11:00 - 11:45 基調講演 2: 中緯度電離圏擾乱とその起源

[丸山隆(情報通信研究機構)]

11:45 - 13:00 昼休み

13:00 - 13:40 関連講演 1: 電離圏・熱圏大気波動の低緯度伝搬

[久保田実(情報通信研究機構)・藤原均(東北大学)]

13:40 - 14:20 関連講演 2: 中・低緯度における電離圏擾乱

[大塚雄一・横山竜宏 (名古屋大学 STEL)]

14:20 - 15:00 関連講演 3: グローバル電離圏嵐

[國武学・陣英克 (情報通信研究機構)]

15:00 - 15:20 休憩

15:20 - 16:00 関連講演 4: 中層大気中の物質輸送

[坂野井和代(駒沢大学)・村山泰啓(情報通信研究機構)]

16:00 - 16:40 関連講演 5: 極域大気波動の経度分布

[野澤悟徳(名古屋大学 STEL)・三好勉信(九州大学)]

16:40 - 18:00 ポスター・セッション

18:00 - 20:00 懇親会

<9/26>

9:30 - 11:30 MTI 衛星セッション

9:30- 9:50 概要と進展：[齊藤昭則(京都大学)]

9:50-10:10 搭載機器：[坂野井健(東北大学)]

10:10-10:30 サイエンス・プラズマ圏：[河野英昭(九州大学)]

10:30-10:50 サイエンス・熱圏・中間圏：[藤原均(東北大学)]

10:50-11:10 サイエンス・電離圏：[大塚雄一(名古屋大学 STEL)]

11:10-11:30 議論：衛星名、今後の進め方

11:30 - 11:40 休憩

11:40 - 12:20 プロジェクト・研究計画セッション

「北海道 HF レーダー最終準備状況」

[西谷 望(名古屋大学 STEL)、北海道 HF レーダー研究グループ]

「南極昭和基地大型大気レーダーの現状」

[佐藤薫、堤雅基、佐藤亨、齋藤昭則、富川喜弘、西村耕司、
山内恭、麻生武彦、江尻全機]

12:20 - 13:30 昼休み

13:30 - 15:30 地震に関連した電離圏変動セッション

「地震の電離圏への影響－電離圏研究の新たな展開－」

[小山孝一郎(首都大学東京)]

「地表付近の大気擾乱に起因する地磁気脈動発生の一般性」

[家森俊彦(京都大学)]

「2004 年 12 月 26 日のスマトラ沖地震後の GPS-TEC 変動」

[大塚雄一(名古屋大学 STEL)]

「津波起源の電離圏変動の数値シミュレーション」

[品川裕之(情報通信研究機構)]

15:30 - 15:40 休憩

15:40 - 16:10 コメント

「GWと乱流」 [加藤進(京都大学名誉教授)]

16:10 - 17:00 総合討論・アナウンス

ポスターセッション一覧

サイエンス・セッション関連

P1 観測システム紹介 1: SuperDARN を用いた超高層大気研究

○細川 敬祐 (電気通信大学)

P2 観測システム紹介 2: 光学イメージング観測

田口真(極地研究所)

P3 観測システム紹介 3: FORMOSAT-2/ISUAL による超高層発光現象の観測

足立透(東北大理), 福西浩(東北大理), 高橋幸弘(東北大理), Rue-Ron Hsu(NCKU), Han-Tzong Su(NCKU), Alfred Bing-Chih Chen (NCKU), Stephen B. Mende(UCB), Harald U. Frey (UCB), Lou-Chuang Lee (NARL)

P4 観測システム紹介 4: GPS-TEC

斎藤昭則 (京都大学)

P5 計算技法紹介:計算機シミュレーション

高橋芳幸 (北大・理)

P6 モデル紹介:経験モデル (CIRA, IRI)

吉村玲子 (情報通信研究機構)

研究発表ポスター

P7 プラズマ圏撮像技術の向上 -MTIP 小型衛星搭載に向けて-

村上豪 (東京大学), 吉岡和夫 (東京大学), 吉川一朗 (東京大学), 山崎敦 (東北大学), 斎藤昭則 (京都大学)

P8 1980-2000 年の地磁気静穏日日変化場

竹田雅彦 (京都大学)

P9 太陽活動及び地磁気活動と北極振動の関係

藤田玲子(筑波大学大学院環境科学研究科), 田中博(筑波大学 CCS, FRCGC/JAMSTEC)

P10 Thermospheric wind climatology in equatorial and polar regions observed by CHAMP.

Huixin Liu, S. Watanabe, Hokkaido University

P11 大規模伝搬性電離圏擾乱を引き起こす中性大気密度擾乱の観測

村上尚美 (京都大学大学院理学研究科地球物理学教室), 斎藤昭則 (京都大学大学院理学研究科地球物理学教室), 津川卓也(STE 研)

P12 DELTA キャンペーンで観測されたジュール加熱に伴う水平風の発散と上昇流

栗原純一, 阿部琢美, 小山孝一郎, 岩上直幹, 野澤悟徳, 藤井良一, 小川泰信, M. Kosch, E. Griffin, A. Aruliah, K. Kauristie

- P13 磁気圏から極域電離圏へ流入する電磁エネルギーと降下粒子エネルギーの関係
半田弘司(名古屋大学太陽地球環境研究所), 藤井良一(名古屋大学太陽地球環境研究所), 小川泰信(国立極地研究所), 野澤悟徳(名古屋大学太陽地球環境研究所)
- P14 極域電離圏ポテンシャルの統計的性質: IMF $|B_y|$ $|B_z|$ 時に対する Weimer モデルとの比較
森本美奈子, 田口聡 (電気通信大学)
- P15 全天 TV カメラと SuperDARN レーダーによるパルセーティングオーロラの同時観測
○山野 泰生, 細川 敬祐, 清水 悟史, 村田 洋三 (電気通信大学), 佐藤 夏雄 (国立極地研究所), S. E. Milan, M. Lester (レスター大学), G. Bjornsson, T. Saemundsson (アイスランド大学)
- P16 極域大型短波レーダーと中緯度 HF ドップラー、GPS-TEC 観測を用いた中規模移動性電離圏擾乱の多点観測
○石田 哲朗 (電気通信大学), 細川敬祐 (電気通信大学), 清水悟史 (電気通信大学), 佐藤夏雄 (国立極地研究所), 行松彰 (国立極地研究所), 富澤一郎 (電気通信大学), 柴田喬 (電気通信大学), 齊藤 昭則 (京都大学大学院 理学研究科 地球物理学教室)
- P17 SuperDARN と EISCAT 観測に見られる電離圏波状構造の比較解析
○清水 悟史, 細川 敬祐, 柴田 喬(電気通信大学), 小川 泰信, 野沢 悟徳(名古屋大学太陽地球環境研究所), 元場 哲郎(名古屋大学大学院環境学研究科), 佐藤 夏雄, 行松 彰(国立極地研究所)
- P18 GPS 受信機データを用いた 4 分周期の TEC 変動と MSTID との比較
橘亮匡, 斎藤昭則, 西岡未知 (京都大学大学院理学研究科)
- P19 GPS トモグラフィを用いた電離圏擾乱鉛直構造の時間変化に関する研究
藤田信幸, 寺石周平, 齊藤昭則 (京大・理), 上野玄太 (統数研)
- P20 プラズマバブルの発生と背景電離層構造の関係について
斎藤 享, 丸山 隆 (情報通信研究機構)
- P21 インド・グアム間で出現したプラズマバブルの東西空間分布について
西岡未知, 齊藤昭則, 津川卓也
- P22 The periodic TEC variations detected by GPS observation of the 26 December 2004 Sumatra Earthquake
CHOOSAKUL Nithiwatthn, Saito Akinori, Iyemori Toshihiko, Hashizume Michio
- P23 SEALION 観測データ解析から見出された F3 層の緯度依存性
上本純平 (東北大), 小野高幸 (東北大), 丸山隆 (NiCT), 斎藤享 (NiCT), 飯島雅英 (東北大), 熊本篤志 (東北大)